

[古代ギリシアの文明]

エーゲ文明…エーゲ海を中心とした古代ギリシアの文明

大きくミケーネ文明とクレタ文明に分けられる。

※エーゲ文明は青銅器を用いた青銅器文明

〈クレタ文明〉

・前 2000 年頃…クノッソスがクレタ島を統一して、栄える。

→クレタ文明は、地中海を中心とした解放的な海洋文明を築く。

※その解放的な性格はクレタ島のクノッソス宮殿に城壁がないことからわかる。

・線文字 Aを使用：未解読の文字

→ミケーネによって滅ぼされる。

⇒19世紀にイギリス人のエヴァンズによって発掘される。

〈ミケーネ文明〉

前 1600 年頃…クレタ文明を滅ぼして栄える。

・ミケーネ、ティリンス、ピュロスなど、内陸都市を中心とする。

※一方で、地中海貿易の勢力も保持。海の民侵入後、フェニキア人にその座を譲る。

・線文字 Bを使用：イギリス人建築家、ヴェントリスが解読。

⇒ドーリア人、海の民の侵入などで滅亡。以後、ギリシアの暗黒時代に入る。

→19世紀、ドイツ人のシュリーマンがミケーネ文明を発掘。

〈トロイア文明〉：ミケーネ文明とほぼ同じ時期に栄える。

・小アジアにある、トロアという都市を中心として栄える。

・ギリシア人によるトロアの征服がトロア戦争。その最終局面が、「トロイの木馬」

〈暗黒時代〉 前 12 世紀～前 8 世紀

・この時代にギリシアは鉄器時代へ移行した。

[ギリシア人とポリス]

ギリシア人はポリスと呼ばれる都市国家を建設して集住(シモイキスモス)していた。

また、ギリシア人は方言によって分けられ、代表的なものが次の3つ。

- ・イオニア人…アテネを建設
- ・ドーリア人…スパルタを建設
- ・アイオリス人…テーベを建設

※各ポリスは争いを繰り返す一方で、同じギリシア人としての同胞意識も持っていた。

- ・ヘレネス…ギリシアの自称。ギリシア人は英雄ヘレンの子とすることに由来。
- ・バルバロイ…異民族の蔑称。訳の分からない言葉を喋るものという意味

〈ポリスの構造〉

アクロポリス(城山)…各ポリスの神殿などがある丘。城塞を持つものも多い。

アゴラ…アクロポリスのふもとにある広場。平民は政治的談議などを行った。

〈ポリスの行事、祭祀〉

オリンピアの祭典…4年に一度の大運動会。開催中はポリス同士の抗争は停止された。

デルフォイの信託…デルフォイの神殿で与えられるお告げ。

〈植民市の発展〉：各ポリスは人口の増加に従って植民市をギリシア外に建設し始めた

ネアポリス…現在のナポリ。ネア(新しい)・ポリスという意味。

マッサリア…現在のマルセイユ。フランス南部。

ビザンティオン…現在のイスタンブール(トルコ共和国)。何度も改称した都市。

※その他、イオニア地方にも植民市を建設した。

[ポリスの発展]

- ・ポリス間の争いで戦えるのは、武具を買って**重装歩兵**として参加する貴族だけだった。
- 工業が発達して武具の値段が下がると、平民も武具を買って戦争に参加できる。
- 平民の発言力が高まって貴族制を打倒していく。

〈スパルタ〉…ドーリア人のポリス

- ・穀物自給が可能のため、交易を絶って鎖国を行う。
- ・幼少期から軍事訓練を行い、少数のスパルタ人が支配を行う。

スパルタ人…第1身分で貴族制を行う。

ペリオイコイ…劣格市民で商業に従事した。

ヘイロータイ…隷属農民。スパルタ人に貢納を納める。

上記2つの体制を合わせて、**リュクルゴス制**という。

〈アテネ〉…イオニア人のポリス

- ・前8世紀半ば…貴族制としてポリスが成立する。

→前7世紀…**ドラコンの成文法**：法を文章化して貴族による法の独占を破る。

→前508年…**ソロンの改革**(1)負債の帳消し

(2)債務奴隷の禁止

(3)財産政治を行う

⇒改革は失敗。謀略を用いて非合法に政権を握る**僭主**が現れる。

→僭主：**ペイシストラトス**の政治：ラウレイオン銀山の開発

アテネの美化など平民に優しい政治。

→前508年…**クレステネス**の改革

(1) **オストラシズム(陶片追放)**の制度…独裁になりそうな人の名前を陶器の破片に記して

6000票以上でアテネを10年間追放となる。

→後にオストラシズムは権力奪取の道具となる。

(2) 血縁に基づく4部族制を廃止し、地区(デーモス)を基準にした地域的部族制にする。

500人評議会をアテネの最高決定機関である民会の先議機関とする。

[ペルシア戦争]

・前6世紀半ば…小アジアのリディアをアケメネス朝ペルシアが滅ぼす。

→アケメネス朝はイオニア植民市に圧力をかけ、僭主政へ移行させようとする。

→前500年…**イオニア植民市の反乱**

⇒これに対してアテネは民主制擁護のためにイオニア植民市を援護

→アケメネス朝ダレイオス1世はギリシア征服に着手。

→前500年…**ペルシア戦争**(ギリシア vs アケメネス朝)

(1)**マラトンの戦い**…ギリシア本土に上陸したペルシア軍をアテネ重装歩兵軍が
ミルティアデスの指揮のもとで勝利。

・テルモピレーの戦い…アケメネス朝クセルクセス1世の大群に
レオニダス率いるスパルタ軍が全滅した戦い。

(2)**サラミスの海戦**…テミстокレス率いるアテネ海軍が、ペルシア軍を破った戦い。
三段櫂船が活躍し、**無産市民**の発言力が高まった。

(3)**プラタイアの戦い**…アテネ・スパルタ連合軍がペルシア軍破ってペルシア戦争での
勝利を決定づけた戦い。

⇒前449年…カリアスの和約で終戦。

〈戦争の影響〉

・**デロス同盟**の成立…ペルシアの再攻に備えた軍事同盟で指導権はアテネが握る。

⇒これに不満を持つポリスが…

・三段櫂船の漕ぎ手を務めたアテネの無産市民の政治的発言力が強くなる。

→アテネの将軍**ペリクレス**が民主制を完成させる。

[アテネの民主制]

ペルシア戦争後、デロス同盟の盟主のとなったアテネ
→将軍ペリクレスが民主制を完成させた。

〈アテネ民主制の特徴〉

- ・最高決定機関は**民会**
- ・**18歳以上の成人男性に選挙権**がある。
- ・**直接民主制**をとる。
- ・**将軍職などを除いたほとんど全ての役職に抽選制**を採用。
- ・**奴隷制**を中心として成立

前451年…市民権法：アテネ市民は両親がアテネ市民のものに限る。

〈ポリスの覇権の推移〉

・デロス同盟成立後…アテネがギリシアの覇権を握る。
⇔これにスパルタが対抗し、**ペロポネソス同盟**を結成。

→**前431年…ペロポネソス戦争** デロス同盟 vs ペロポネソス同盟

→アテネはペリクレスの死後**デマゴーゴス(扇動政治家)**によって**衆愚政治**に陥り、弱体化。
⇒スパルタが勝利してギリシアの覇権を握る。

→ペロポネソス同盟に反スパルタ勢力が同盟として対抗。

→コリントス戦争：ペロポネソス同盟 vs 反スパルタ同盟

⇒アンタルキダス条約(大王の和約)で終戦。スパルタのギリシアでの覇権が確定。

→レウクトラの戦い：スパルタ vs テーベ

⇒勢力を伸ばしつつあったエパメイノダス率いるテーベ軍がスパルタ軍を破る。

→ギリシアの覇権はテーベに移る。

- ・その後ポリス間の争いは続き、各ポリスは疲弊してくる。

[ヘレニズム時代]

〈マケドニア王国〉

フィリッポス 2 世

・ギリシアに勢力を拡大し軍事力の強化に努める。

→ギリシアの覇権はデモステネスら好戦派とイソクラテスら非戦派に分かれる。

→前 338 年…カイロネイアの戦い：マケドニア王国 vs ギリシア諸ポリス

→マケドニアが勝利しほぼ全てのポリスをコリントス(ヘラス)同盟の支配下に置く。

アレクサンドロス大王(アレクサンドロス世)

・前 334 年～東方遠征：オリエントへの遠征

→グラニコス河の戦い

→イッソスの戦い：アケメネス朝のダレイオス 3 世を破る。(前 333 年)

→アルベラ・ガウガメラ間の戦い：ペルセポリスを焼き払う

⇒前 330 年…アケメネス朝を滅ぼす。

・アレクサンドロス帝国の領土はギリシアとオリエント全土(西はインダス川まで)に及んだ。

→アレクサンドロス大王の死後、ディアドコイ(後継者)を争って帝国は 3 つに分裂

→前 301 年…イプソスの戦い：帝国の分裂を決定づけたディアドコイ戦争

アンティゴノス朝マケドニア…ギリシアを支配

セレウコス朝シリア…メソポタミア、小アジア一帯を支配

プトレマイオス朝エジプト…エジプトを支配

※この三国が存在する時代をヘレニズム時代という。

⇒前 30 年…オクタウィアヌスがプトレマイオス朝を滅ぼしてヘレニズム時代はおわる。

[ギリシアの文化]

〈宗教〉

オリンポス 12 神…オリンポス山に住むとされるギリシア神話の神々。

ゼウス…主神	アレス…軍神	アテナ…知恵の女神
ヘラ…ゼウスの妻	ヘファイストス…火の神	アフロディテ…美の女神
デメテル…農業の女神	アポロン…日の神	ヘスフィア…かまどの女神
ポセイドン…海神	アルテミス…月の女神	ヘルメス…商業の神

〈文学〉

抒情詩

- ・ **ホメロス** : 『イリアス』 …トロイア戦争での英雄を詠う
: 『オデュッセイア』 …英雄オデュッセウスの凱旋を詠う
- ・ **ヘシオドス** : 『神統記』 …神々の系譜をたどった詩
: 『労働と日々』 …労働の尊さを説く教訓詩

抒情詩

- ・ **サッフォー** …レスボス島出身の女性詩人。愛を主題とした。
- ・ **アナクレオン** …恋愛詩に酒を交えて詠う
- ・ **ピンダロス** …『競技祝勝歌』 : オリンピア競技会の優勝者をたたえた歌。

悲劇

- ・ **アイスキュロス** …『アガ멤ノン』 : トロイア戦争の指揮官の凱旋と悲劇。
- ・ **ソフォクレス** …『オイディプス王』 : 父殺しと実母との交わりの話。
- ・ **エウリピデス** …『メデイア』 : 王女の子殺しの話

喜劇

- ・ **アリストファネス** : 『女の平和』 …ペロポネソス戦争の和平を求めて女性が性的なストライキを起こす話
: 『女の議会』 …女性が男に代わって政治を行う話

〈自然科学〉

タレス (タレス) …万物の根源は「水」である。日食を予言した。

ピタゴラス …万物の根源は「数」である。

ヘラクレイトス …万物の根源は「火」である。「万物は流転する。」

デモクリトス …万物の根源は「原子」である。

エンペドクレス …万物の根源は「四大元素」(火・水・空気・土)である。

アナクシメネス …万物の根源は「空気」である。

アナクシマン드로ス…万物の根源は「無限定」である。

〈哲学〉

ソフィスト…職業弁論家として市民に弁論に勝つ方法を教える。

相対主義の立場に立ち、自然だけでなく人間に目を向けた。

プロタゴラス…「人間は万物の尺度」：相対主義を示した言葉。

ゴルギアス…「何ものもあらぬ」：懐疑論の立場

⇒ソクラテス…ソフィストの相対主義を批判し、絶対的な審理を探究した。

「無知の知」を自覚して、問答法と呼ばれる対話によって相手の無知を明らかにした。

・プラトン…ソクラテスの弟子。真実在としてのイデアを規定し、観念主義哲学を説いた。

・アリストテレス…プラトンの弟子。イデア論を批判し、ギリシア哲学を大成した。

〈歴史〉

ヘロドトス…ペルシア戦争史：物語的な歴史記述

「エジプトはナイルのたまもの」

トゥキディデス…ペロポネソス戦争史：厳密な史料批判に基づく歴史記述

〈建築・美術〉

フェイディアス…パルテノン神殿の再建築

ミュロン…「円盤投げ」

プラクシテレス…「ヘルメス神像」

建築様式

ドーリア式…柱の上部は飾りがなく、荘厳な印象。：パルテノン神殿はドーリア式

イオニア式…柱の上部には渦巻き模様がある。上品で優美な印象。

コリント式…柱の上部は複雑な模様で繊細。

[ヘレニズムの文化]

ヘレニズム…ギリシア的な思想とオリエントの文化が融合してできた文化。

アレキサンドリア…アレクサンドロス大王によって造られた都市で、エジプトのものが最も有名。エジプトではムセイオンという学問研究所を中心に自然科学文献学が栄えた。

〈自然科学〉

エウクレイデス…ムセイオンで学び、平面幾何学を大成した。

アリストアルコス…地球の自転と公転を主張し、太陽中心説を唱えた。

アルキメデス…浮力の原理。槌の原理。

エラトステネス…ムセイオンの館長。地球の周囲の長さを測定。

〈思想・宗教〉

世界市民主義（コスモポリタニズム）…ポリス中心主義から脱却し、普遍的な立場で個人の幸福を追求する思想。

ストア派…禁欲主義を掲げた思想。ゼノンが創始した。

情念（パトス）に流されず自然（理性）にしたがって生きることを説いた。

エピクロス派…快楽主義を認めた思想。エピクロスが創始した。

肉体的な快楽ではなく、魂の平静さを保つことを重視した。

〈彫刻・建築〉

「ミロのヴィーナス」…美の女神：アフロディテの像

「ラオコーン」…トロイアの神官が海蛇に殺される場面を表現した像

「サモトラケのニケ」…サモトラケ島で発見